

日々。

日常のあれこれ、
特別な何か。
知っているけど、
気付かなかったこと。

飛翔

な

魚肉ソーセージ 立花 紗希

魚肉ソーセージ、それはとても素晴らしい食べ物であると思う。小腹がすいた時や、昼食の代わりにもなるし、料理に使おうと思えば活用方法は様々だ。私が大学生になって、実家から送られてくる荷物の中には毎回必ずそれが入っている。時々おつまみでよく見られるようなチーズのかまぼこも入っている。それは魚肉ソーセージとはまた違っているのだが、たまらなくうれしい。

自分がゆめタウンに買い物に行くようにしている周期として、冷蔵庫に魚肉ソーセージが無くなったら買い物に行く、というルールがあるほどだ。もちろん、ほかにも日用品などで必要に駆られたら行くのだが…。

ここでオススメの魚肉ソーセージ調理法を紹介しよう。まず魚肉ソーセージ1本に少し切れ込みを入れる。金具がついている場合は切ってしまうと良い。そしてそれを丸ごとレンジに入れ600Wで30秒ほど加熱する。これで完成だ。簡単すぎるかもしれないが、忙しい朝や時間がない時には良い調理法である。(人に振る舞う

ものではないのでその辺は注意。)

魚肉ソーセージは天ぷらにしても、野菜炒めに入れてもおいしく頂ける。無限の可能性を秘めている万能の食べ物ということが出来るだろう。ただ、私は魚肉ソーセージが好物というわけではない。魚肉ソーセージは味に飽きやすいので、ずっと食べるのは難しい。これからの私の課題として魚肉ソーセージに代わる万能食品を探さなくてはならない…。誰か、良い食材を教えてくれないだろうか。

帰省 原 ゆうみ

夏休み、初めて帰省をした。ずっと寂しくて会いたい友達がたくさんいた。帰る前からみんなに連絡をとり、予定を立てたらかなりハード。楽しみすぎて、あれもこれもと準備してたらいっのまにかスーツケース2個分の荷物に。大荷物を持って、10時間バスに揺られて到着。楽しい夏休みが始まった。

毎日毎日が楽しくて、最高だった。話すこと

は、大学のこと、一人暮らしのこと、友達のこと、方言のこと。辛いことも楽しいことも全部ぶつけ合った。浪人中の友達の頑張る姿を見て、引き締まる思いもした。実家に帰って、親への感謝も深まった。

でも、そうやりながらも大学の友達とも繋がっていて、不思議な感じだった。4月から大変で寂しくて辛くて地元へ逃げてきたけど、それでも色んな人に出会ったり、たくさんのかんことを学んだりしてきた。大切な友達もできた。大学での経験を一緒にして思い出もできた。このことに帰省して気づけた。

私はこれから4年間、広島にることになるだろう。これから先、自分次第で価値ある4年にもそうでない4年にもできる。もっと出会いもあるし、辛いことも楽しいこともある。地元の友達も大学の友達も大切にして、たくさんたくさん経験して、良い4年間にしていく、そう改めて思えた。